

こんな時
どうする?

7つの ケースで 予習!

受験生の わが子との接し方

子どもが受験に立ち向かうこの1年、つい気を遣って腫物にさわるように接したり、子どももイライラしたり…。親子でナーバスになりがちな時ですが、進路を決める大事な時期だからこそ、親子のコミュニケーションがとても大切。そこで、受験生のわが子にはどう接したらいいか、7つのケース別に、高校の先生にアドバイスを伺ってきました。

取材・文/菅家真理枝 イラスト/木村吉見



アドバイスをいただいた先生方



東京都立晴海総合高等学校
主任教諭
多田早穂子先生

東京都立晴海総合高等学校
主任教諭
小出和代先生



『生涯学習体系の教育』という特色を持つ晴海総合高校で、進路指導を担当されている両先生。様々なタイプの生徒や保護者との面談経験豊富で、最近の親子事情にも詳しい。

*先生方の肩書きは取材時のものです



もうすぐ夏休みなのに、わが子の志望校、志望学科もわからない。教えてくれない

言いたくない場合と、
決めきれない場合がある

——多田先生、小出先生、よろしくお願いします。

まずは、高3の夏休み間近になつても、志望校がわからなくて、保護者は心配でたまらないというケース。「志望校決めないとまずいよ」と言つてしまつていいんでしょうか? (以下編集部)

多田先生 そう言うと、よけいにカラをかぶつて、萎縮してしまつこともあります。リミットはあると思いますが、話してくれなくて、少し待つてあげるほうがいいと思います。例えば、一般人試でしたら、高3の始め頃に、志望の方向性や

やりたい分野が決まっていれば、具体的な志望校を絞り込むのは、もう少し後でも大丈夫です。夏の頑張りでぐつと伸びることもありますから。

——一般入試なら、まだ時間があるので、心配しなくていいのですね。とはいって、ちゃんとやりたいことを考へているか、心配な場合はどうすればいいでしょう。

多田先生 例えは、「いつまでだつたら、調べられそう?」という感じで聞いてみるのがいいでしょう。または、読んでいる本や、見ていてテレビなど、興味関心のあるものから探りを入れて、「こういうの、おもしろいの?」と、声がけしてみよう。

三者面談を機に 探しを入れてみては?

けになるかもしれません。

てみる方法もあると思います。この時期にまだ、考えられてない生徒は、進路室に行つたことがないケースも十分考えられます。



ポイント

- 焦つて問い合わせるのはNG。
- やりたい分野を探りながら、会話をしてみよう。
- 三者面談は話し合つチャンス。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| OKワード | NGワード |
| ○「もう高3なのに、まだ決めてないのか」 | ✗「今までだつたら、調べられない」 |
| ○「いつまでだつたら、調べられない?」 | ○「進路室に行ってみた?」 |
| ○「進路室に行ってみた?」 | |

小出先生 そこで、志望校がわからぬ場合もありますし、本人が決めていないなら、「進路室に行つて、資料を見てみたら?」「進路の先生に相談してみたら?」と促し



子どもが決めた志望校に賛成できない。 もっと、上を目指してほしい

まずは、そこを選んだ理由を聞いてみること

——子どもの志望校に保護者が賛成できなくて、ストレスが溜まることがあるようです。

多田先生 たぶん、保護者の考えているのは偏差値でいうところの上のことですね。偏差値だけではなく、その分野の中で「これを学ぶならこの大学」という特色や専門性の高さを調べることが大事。親子で一緒に調べてもいいし、どうしてその学校なのかを、じっくり話をする必要があると思います。

小出先生 そこのほうが就職したいことがあるからとか、自分で考

えている場合もあるかもしれません。選んだ経緯を聞いた上で、子どものビジョンがはつきりしているのであれば、親から見て無名の大学であっても、応援するしかないと思います。

昔の話をされる保護者の方も多いためいますが、昔と今では、大学の評価も変わっています。昔それほどでもなかつた大学の評価が上つたり、その逆もありますので、保護者の方も情報を更新する必要があると思います。

こんな大学もあるけど、と提案してみるのはアリ

——保護者は「そこじゃなくて」とか「そこよりも」と言いたくなる

多田先生 そういう時は、「名前

だけで、選んでいるんじゃないの？ やりたいことで選んでる？」と言つていいと思います。逆に、「ここでいいとか「そこじゃなくて」などあるからとか、自分で考

のを我慢すべきなのですね。

多田先生 本人の選んだ大学を「そなだね。そこもあるよね」と認めてあげ、その上で、「こういう大学でも、その勉強はできそ

うだけど、ここは調べてみた？」と、提案してみていいと思います。ご自身の価値観を、一方的に押し付けるのが一番よくないです。

——意外に、安易に大学のブランド名だけで、選んでいるかも知れません。

● 選んだ理由を受け止めた上で、「こちらの提案を切り出してみるのは一つの方法。

● 昔の偏差値や評価だけで判断していないか、保護者も情報更新をしよう。

OKワード
NGワード

○ 「そこじゃなくて、もっと上の大学を目指して頑張つたら？」

○ 「そういうことが学びながら、こういう大学もあるけど、調べてみた？」



時は「今それだけの力があるんだつたら、これから伸びるんだし、今ここで決めなくても、もうひとと張りしてみない？」と声かけをするといいかかもしれません。



突然、地元外の私大に行きたいと懇願されてしまった。いろんな意味でピンチ！

——経済的なことや、一人暮らしの心配もあるけれど、子どもの夢もむげにしたくないので、あたふたしてしまう例です。

多田先生 遅かれ早かれ、子どもは自立していきますから、自立するいいチャンスなのだと受け止めているかがでしょう。ただし、その理由は確認しなくてはなりません。

進学の目的がはつきり定まっているなくて、親元をとにかく離れたい、人暮らしをしたいだけなら、「それは主旨と違うんじゃない?」と話をしたほうがいいでしょ。

——確かに、そうですね。

ただ親元を離れたいと
いうだけなら、注意が必要

——経済的なことや、一人暮らしの心配もあるけれど、子どもの夢もむげにしたくないので、あたふたしてしまう例です。

多田先生 遅かれ早かれ、子どもは自立していきますから、自立するいいチャンスなのだと受け止めているかがでしょう。ただし、その理由は確認しなくてはなりません。

お金の準備があるから 早く調べてねと促す

多田先生 経済的なこともあるので、一概には言えませんが、「地元外で遠くて通えないけど、どうしてもやりたいことがある」というのはいかがでしょう。もちろんそれがなりのお金をかけるのですから、親として「それを学ぶのなら出しあげられる」というのが納得できるかがポイントだと思います。

早くれば秋ごろにまとまった金額を支払うこともありますので、その場合は準備が必要ですが、親子で情報共有できていないと大変です。

や払い込むタイミングなどについて、親子で話し合いがされていないケースが多いんです。例えば、推薦・AO入試などでは、比較的早い時期に合否が出る場合もあります。

——それはいい方法ですね。
要か早く調べてね」と伝えると、志望校のことも調べ始めるのではないでしょうか。

や入学手続きのためのお金のこと

多田先生 保護者の方は、経済的なことを曖昧にせず、家庭の経済状況と、どこまでならお金を払えるかということは、早めに伝えておくべきですね。

小出先生 例えば、高3の4月の段階で、「うちの経済状況はこうだから、今までにお金がいくら必

- **OKワード**
 - **NGワード**
 - **ポイント**
- 「ダメ、とにかくダメ」
 - 「どうして、その大学に行きたいのかな?」
 - 「お金を準備する都合があるから、早めに志望校を教えてね」
 - 親元を離れたいだけなら要注意。
 - どうしてもやりたいのかを確認して、納得できるか。
 - 経済的なことは、4月には子どもに開示しておく。





夏が勝負なのに、全然エンジンがかっていない。そんなに余裕でいいの？

家は誘惑が多くて集中できないのかも

——夏休みは、受験生の頑張りどころですが、家でだらだらと過ごす姿を見かねた保護者が、「受験生なんだから」と言いたくなるようです。

小出先生 生徒は、「家は誘惑が多くて勉強できない」と、よくもらっています。だから、家に帰る前にどこかで勉強して帰るように言つたりします。家の近くの図書館を利用する子もいますし、なには、ファーストフードを利用する子もいるようです。電車の中の隙間に、単語など暗記モノを覚えるといいよという話をよくしま

すね。

——外できちんと勉強していれば、家で少しぐらりラックスしてもいいのかもしれないですね。家族もテレビなど見ないよう、気を遣つたほうがいいのでしょうか？

多田先生 今は、テレビよりも、ネット、スマホですね。

ゲームやチャットに費やす時間が大きいと思いますが、これは、いや、やめさせるのは無理なので、やつていいけど勉強する時間も作るよう、自分でルールを作らせるのがいいでしょう。

——急に言うと反発されそうですから、高3の始めに、もう受験生だからとルールを決めさせたほうがいいですね。

小出先生 本人も焦つていて、空回りしていることもあります。計画表があつたら、見えるところに張つておいてもらうと、予定をチエックできますね。あとは、年間の模試

学校の講習会に行かせる手もある

多田先生 夏休みは、ほとんどの学校で、講習会をやつていると思いまので、「学校で、夏休みに講習

申込んだの？」と確認するのもいいと思います。私たちも、「この子は受けておいたほうがいいな」と思う場合は、個別に声をかけるようにしています。

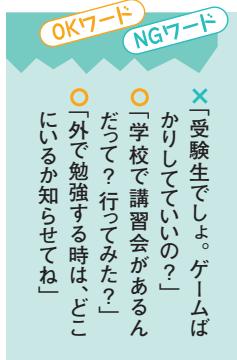
——学校に行くのはいいですね。

小出先生 本人も焦つていて、空回りしていることもあります。計画表があつたら、見えるところに張つておいてもらうと、予定をチエックできますね。あとは、年間の模試

の予定はわかっているので、「模試の結果を見せて」と言つていいと思います。「見せてくれないと、学校へ行つて見せてもらうけどいい」とか。

ポイント

- 家では集中できないのが子どもの本音。外で勉強するとも、容認しよう。
- スマホやゲームのルールを作るなら、高3の4月がラストチャンス。





だんだんわが子の元気がなくなり、イライラが増してきた。どう対処すればいい？

— 受験勉強も佳境になると、お子さんのイライラに遭遇することも増えてきて、保護者としても対処に困る場面があるようです。

多田先生 セっかく勉強しているのに、結果が出でこないとか、自分のやっていることに意味があるのだろうかという気持ちがイライラにつながるのでしょうか。

小出先生 推薦・AO入試は年内早い時期に決まりますから、周りが決まってくる中、自分だけ取り残されているような気がして、焦ると思います。

— 受験勉強も佳境になると、お子さんのイライラに遭遇することも増えてきて、保護者としても対処に困る場面があるようです。

多田先生 セっかく勉強しているのに、結果が出でこないとか、自分のやっていることに意味があるのだろうかという気持ちがイライラにつながるのでしょうか。

小出先生 聞いてあげれば、きっと体調も落ち着くと思います。保護者では難しい場合は、学校の先生や周りの信頼できる人にバトンタッチしてもいいでしょう。

また、褒めてあげるのも効果があります。例えば、「今朝は早く起きられたね」とか、些細なこと

聞いてあげるだけで
体調もよくなります

— 保護者は、どうしていいかわからず、腫物に触るような感じになります。

多田先生 やっぱり、話を聞いてあげることですね。話をしやすい環境を作るといいと思います。「どうした?」「なんかあった?」とか声をかけてみると、話しやすくなるでしょう。

小出先生 不調は体に現れるので、小さな体のサインを見逃さないようにするといいと思います。例えば、目の下にクマを作っているな、体調が悪そうだなと思つたら、声をかけてあげるといいですね。「食をかけてあげるといいです。」「食欲ないなら、ご飯じゃなくてうどんにする?」とか。不調のサインに気づけるのは、一番身近にいる保護者ですから。

多田先生 朝、起きられないなら、でもいいんです。特に男の子には

効きますよ。

見守っている気持ちを
言葉に出してみよう

— 受験勉強で、体力的にも無理が続くことも心配になります。

小出先生 不調は体に現れるので、小さな体のサインを見逃さないよう

にします。例えば、目の下にクマを作っているな、体調が悪そうだなと思つたら、声をかけてあげるといいですね。「食欲ないなら、ご飯じゃなくてうどんにする?」とか。不調のサインに気づけるのは、一番身近にいる保護者ですから。

多田先生 朝、起きられないなら、でもいいんです。特に男の子には

けてみては? そういう声がけによつて、見守ってあげているよ、といふことが伝わると思います。



● ポイント

● 「一番、ストレスが溜まっているのは本人。話しやすい環境を作り、話を聞いてあげよう

● 「ちゃんと見守っていること」を、言葉や態度で示そう。子どもも、安心するはず。

× 「そんな弱気でどうする!」

○ 「何があった?」

○ 「夜はちゃんと眠れてる?」

OKワード NGワード

「ちゃんと眠れてる?」と声をか



志望校を決める大事な模試だったけど、その結果にショックの様子。励ましたい!

模試の結果だけが受験データではない

——模試でいい結果が出ないと、子どもは落ち込んで自信をなくしてしまいがちです。保護者は、その姿を見るのが辛いので、励ましたいと思うのですが、うまい言葉が見つからない。

小出先生 基本的に、模試の結果はすぐには上がりません。勉強のスタイルが確立し、基礎ができるまでは絶対伸びないんです。夏からコツコツやっていて、12月にやっと結果に表れる。あるいは1月に突然結果が出る、何とかセンター試験に間に合うかどうか、というのがよくあるパターンです。たとえ

模試の結果だけが受験データではない

D判定が出ても、そのあと伸びることも考えられるのです。

多田先生 模試の判定はあくまでも参考データ。まったくそれと同じ問題が出るわけではありませんから、最後の最後はどうなるかわからないですね。

小出先生 受験は戦略ですから、自分の志望レベルに合わせた受験スケジュールを組んだり、直前の入試倍率など最後まで情報収集をします。そのあたりは、ベテランの進路の先生に相談にいければいいと思います。模試の結果に「喜一憂

続けて頑張っていこう、と励ましてあげるといいと思います。
——ここは、保護者の出番かもしれないですね。

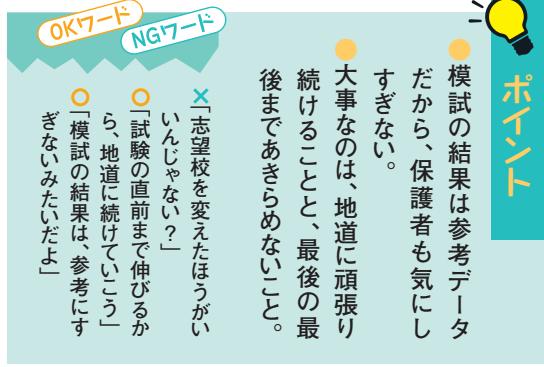
——模試の結果を、気にしすぎな

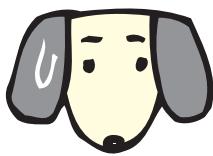
● ポイント

● 模試の結果は参考データだから、保護者も気にしそぎない。

● 大事なのは、地道に頑張り続けることと、最後の最後まであきらめないこと。

- 「志望校を変えたほうがないんじゃない?」
- 「試験の直前まで伸びるから地道に続けていこう」
- 「模試の結果は、参考にすがないみたいだよ」





受験真っ最中。まだ出ない。1校も合格が出ない。親も落ち込んでしまいそう…

小出先生 最後まであきらめない
ようにしなくてはいけませんから、
保護者の方は「大丈夫よ」と言
つて冷静を装つてください。内心は
大丈夫じゃないんだけど、自分も
だまし、子どももそれにのせる。
自分も心配なのに、親まで心配し
ていると、よけい辛いでしようから。
——ネットの合格発表を見た子
どもから「ダメだった」って言われ
たら、その瞬間、どうリアクション

——この頃になると、「浪人」という言葉もちらつくかと思いますが、小出先生 浪人すれば受かる確率は上がります。妥協して、受かつたところに行くのが、1年頑張って行きたいところに行くのが、どちらがいいかですね。家庭の事情もありますが、本人があきらめると思いますが、本気でやる気のあるのなら、「じゃ、来年頑張ろうよ」という選択肢もあると思します。

ると、子どもも、「親も目に見えるないところで、応援してくれているんだな」と思うのではないでしようか。高校生にとって食べ物は大きいやつでありますよ。

ポイント

- 「と」とん、冷静を装う。
- 何もなかつたように、日常生活を送る。
- おいしい食事などで、生活をサポートする。

OKワード NGワード

○ 「どうしよう」「大丈夫よ」

○ 「そつか、じゃ次だね！」

「大丈夫！」だと
自分も子どももだます

多田先生 そこも冷静
すればいいのでしょうか。

おいしいご飯と
当たり前の日常でサボート

——いよいよ2月。受かるはずのところに落ちてしまい、センター試験も予想外の結果。保護者も落ち込んでしまう事態に。

多田先生 そこも冷静を装うし
かないですね。「そつか、じやあ、次
だね」と。
小出先生 子どもの前では、落ち込
込まないで、夜中にひとりになつた
時に、泣いてください。

小出先生 日常生活も、何もなく
つたように普段どおりにするのが
大事です。些細なことですけど、
ご飯も手を抜かないで頑張って作

仕事ですから、ご家庭では安定した生活をできるように、話を聞いたり、睡眠・食事のサポートで、応援していただきたいと思います——平常心で、ずっと応援し続けることですね！

ありがとうございました。

